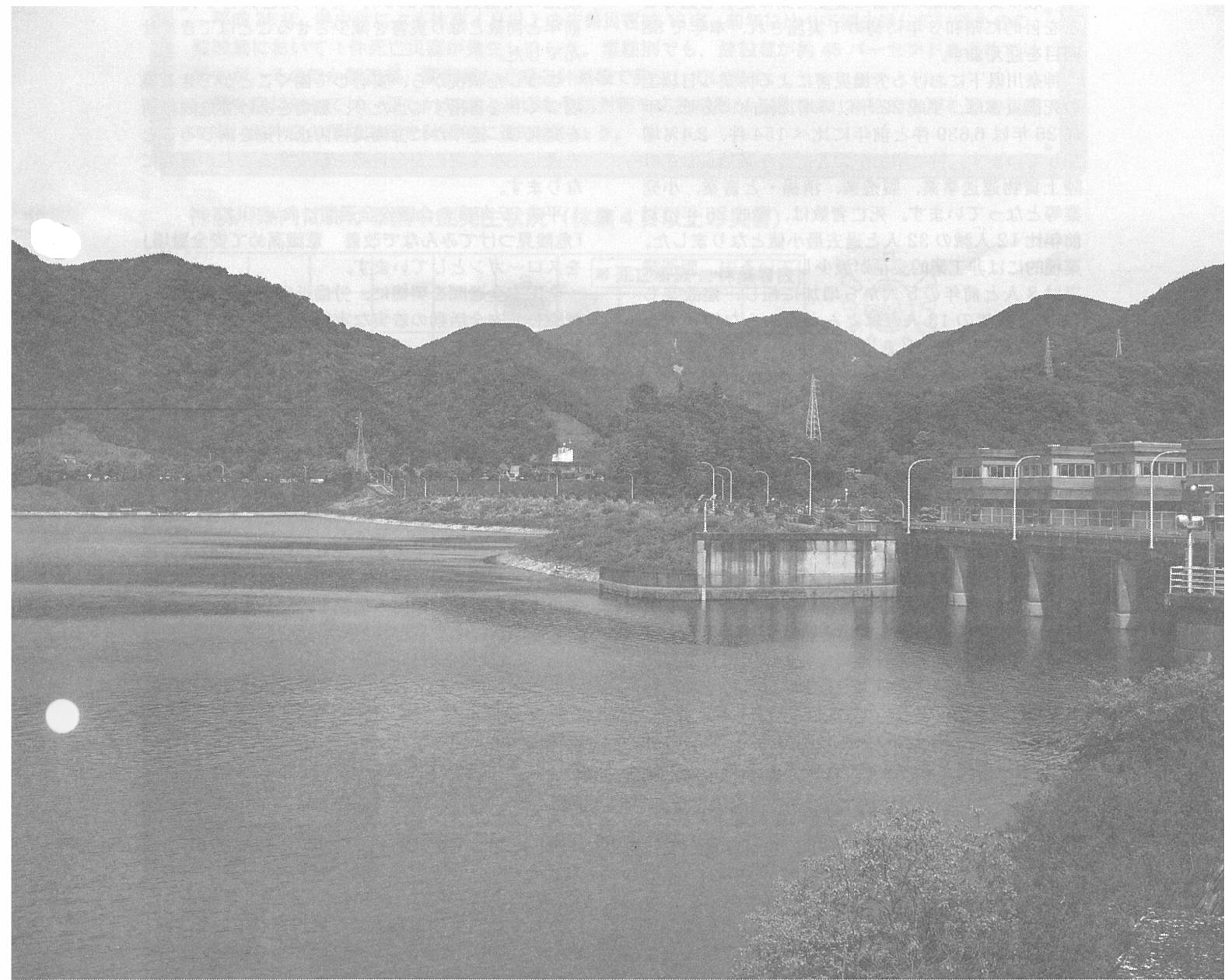




(公社)神奈川労務安全衛生協会  
小田原支部  
小田原市本町 2-3-24  
TEL 0465-24-1753  
発行責任者 支部長 永井康博  
編集 広報部会



丹沢湖

(株)カネカメディックス 谷田部 浩史氏撮影

第 88 回 全国安全週間スローガン  
『危険見つけてみんなで改善  
意識高めて安全職場』

平成27年度

## 全国安全週間を迎えて

小田原労働基準監督署 署長 松渕 由紀夫



全国安全週間は、「人命尊重」の基本理念の下、産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ることを目的に昭和3年に初めて実施され、本年で88回目を迎えます。

神奈川県下における労働災害による休業4日以上の死傷災害は、平成22年以降増加傾向にあり、平成26年は6,639件と前年に比べ154件、2.4%増加しています。特に増加が顕著だった業種としては陸上貨物運送事業、製造業、清掃・と畜業、小売業等となっています。死亡者数は、平成26年は対前年比12人減の32人と過去最小値となりました。業種的には非工業的業種が減少している中、製造業では8人と前年の5人から増加に転じ、建設業も12人と前年の13人とほとんど変わらない状況となっています。

## 第88回全国安全週間

## 小田原地区推進大会に参加して

平成27年度全国安全週間小田原地区推進大会が、6月3日に開催されました。

冒頭、小田原産業労働団体連合会の永井会長はその挨拶の中で、「企業を取り巻く経済情勢は穏やかに回復している。しかし最近の大涌谷周辺の火山活動により、小田原労働基準監督署管内では箱根観光への風評被害が懸念されているが、箱根の一部の場所を除けば安全である」と話されていました。また、労働災害の発生状況も今年4月末時点で、死亡災害が12名と前年を4名上回り、忌々しき状況にあるとの事です。

続いて、小田原労働基準監督署の松渕署長より「みんなが普段行っている安全管理の仕事は地味で目立たないが、人の役に立つ非常に崇高な仕事があるので、誇りを持って欲しい」と激励のお言葉を頂きました。また労災事故については「今年に入って小田原署管内で3件の死亡事故が発生している。そのすべてが墜落転落事故で、これ以上発生させてはならないという強い思いから、各事業所のみなさんには労働災害防止の重要性を再認識して着実な実行をはかつて欲しい」と話されました。

小田原労働基準監督署安全衛生課の永瀬課長から

今年度は第12次労働災害防止計画の中間年となります。平成26年の当署管内における休業4日以上の死傷災害は356件（内、死亡災害1件）と前年と同数となり災害を減少させることはできませんでした。

こうした状況から、安心して働くことができる職場づくりを目指すに当たり、職場をあげて危険箇所を発見し、速やかに労働災害防止対策を講じることを通じて事業場の安全意識を醸成することが重要になります。

平成27年度の全国安全週間においては、「危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場」をスローガンとしています。

全国安全週間に契機に、労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実行を図られますようお願いいたします。

は、安全週間の推進内容についてわかりやすく説明がありました。今年のスローガンが決定された背景について解説され、また昭和33年から現在までの労災事故の業種別傾向や種類を、詳しく述べられました。お話の中で「安全の見える化」についての説明があり、大変興味深い内容で参考になったとともに、今後推進していくテーマであると感じました。

特別講演としては、近藤労働衛生コンサルタント事務所の近藤様より「労働災害防止・リスクアセスメントの活用」と題して講演がありました。労働災害発生のメカニズムを、実際にあった事故事例をもとに背景や要因その改善方法を解説されていました。「リスクアセスメントを行なう事で、作業者の事故に対する意識や感受性を高める事が出来る。それが重要」と力説されました。

今回の推進大会に参加させて頂き、ひとりひとりが安全意識を高める事が重要で、そこから改善方法が生み出され、事故を防ぐことが出来るという思いを強くしました。今年のスローガンを目標に安全活動を推進していきたいと思います。

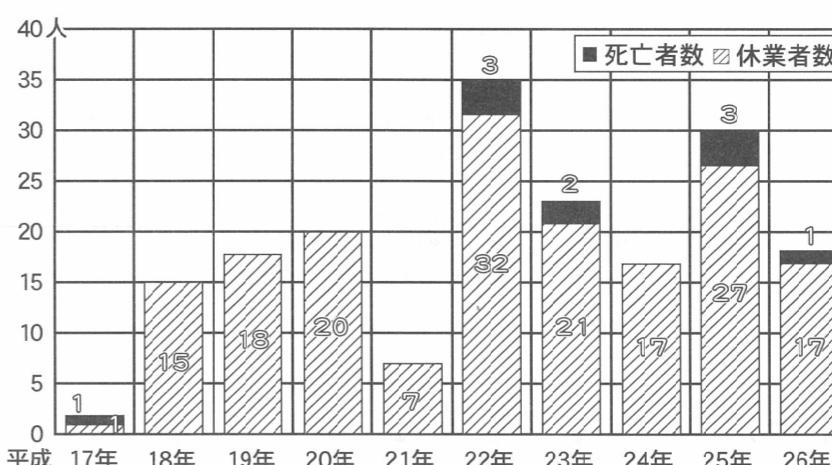
（文化堂印刷株 上野良治）

## 小田原労働基準監督署からのお知らせ

## 熱中症を防ごう

- 平成26年、熱中症による休業4日以上の労働災害は18名、前年に比べて減少はしているものの、建設業において1件死亡災害が発生しました。業種別でも、建設業が約45パーセントを占めていますが、そのほか製造業、警備業など幅広い業種で発生しています。
- 熱中症に対しては、正しい知識と適切な予防対策や応急措置が必要です。本格的な夏を迎える前から、熱中症の予防対策を計画的に進めましょう。

## 神奈川県内における熱中症発生状況（休業4日以上の災害）



建設業における現場作業において、平成26年7月に、解体工事に従事していた作業員が、昼休み前に気分が悪くなり熱中症で死亡したという災害が発生しています。（当時の気温31.0°C）

## 熱中症とは？

高温、多湿の環境下で、体内の水分及び塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症する障害の総称で、症状などにより次のように分類されます。

	重症度 小	
	I 度	II 度
I 度	めまい・失神…「立ちくらみ」のこと。「熱失神」と呼ぶこともあります。 筋肉痛・筋肉の硬直…筋肉の「こむら返り」のこと。「熱痙攣」と呼ぶこともあります。 大量の発汗	
II 度		頭痛・気分の不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感… 体がぐったりする、力が入らない、など。従来「熱疲労」と言われていた状態です。
III 度		意識障害・痙攣・手足の運動障害… 呼びかけや刺激への反応がおかしい、ガクガクと引きつけがある、まっすぐに歩けない、など。 高体温… 体に触ると熱いという感触があります。従来「熱射病」などと言われていたものが相当します。

## 熱中症を防ぐには

直射日光等により高温・多湿になる屋外作業場所などでは、熱中症を予防するため次の対策に努めてください。

### 1 作業環境管理

- (1) 休憩場所の整備など
  - ・冷房を備えた休憩場所、日陰などの涼しい休憩場所の設置。
  - ・氷、冷たいおしぼりなどの身体を適宜に冷やすことのできる物品や設備の設置。
  - ・飲料水、塩分などの備え付け。
- (2) 暑さ指数（WBGT値）の活用など
 

※暑さ指数（WBGT値）とは、①温度 ②湿度 ③輻射熱の3つを取り入れた指標で、単位は気温と同じ「℃」で示されます。

### 2 作業管理

- (1) 作業時間の短縮など
 

作業の休止時間・休憩時間の確保、連続作業時間の短縮、身体作業強度が高い作業の回避。
- (2) 熱への慣れ・適応（順化）
 

計画的な熱への順化期間の設定
- (3) 水分・塩分の摂取、透湿性・通気性の良い服装の着用。
- (4) 作業中の巡視

### 3 健康管理

- (1) 健康診断結果に基づく対応など
 

健康診断結果などによる作業者の健康状態の把握（糖尿病、高血圧、心疾患などの疾患は、熱中症の発症に影響を与えるおそれがあります）
- (2) 日常の健康管理など
 

（2）労働者の健康状態の確認など

## 労働保険の年度更新に関するおしらせ

◆◆◆ 労働保険の年度更新手続き期間は6月1日～7月10日です ◆◆◆

今年の労働保険に関する平成26年度確定保険料・平成27年度概算保険料の年度更新は6月1日から7月10日までが手続き期間です。期間内に申告・納付手続きを済ませてくださいよう、お願い致します。

年度更新申告書の提出については、当署（電話0465-22-7151）及び神奈川労働局・労働保険徴収課（045-650-2802）の受付や銀行等の金融機関又は郵便局の窓口で行う同時納付（この場合は、申告書と納付書を切り離さずに、保険料と併せて窓口に提出願います）、電子申請等を利用ください。なお、電子申請の手続きによる場合は、ご自宅・オフィスのパソコンで24時間、手続きが可能です。

また、これと併せて、石綿健康被害救済のため的一般拠出金も申告・納付手続きが必要です。

## ◆◆◆ 労働保険の年度更新申告書に関するお問合せはコールセンターへ ◆◆◆

年度更新申告書の書き方については、コールセンターにお問合せください。

コールセンター・電話番号 0120-949-732

受付時間 月曜日～金曜日（祝日は除く）の午前9時～午後5時

開設期間 平成27年5月25日（月）～7月17日（金）

平成27年度

## 小田原地区安全功労者表彰



株メイジフローシステム  
米山 誠二



株カネカメディックス  
神奈川事業所  
杉本 玲夫奈

### ■表彰者の選考について

この表彰は、毎年、全国安全週間小田原地区推進大会において、小田原産業労働団体連合会の表彰規定に基づき、3年以上無事故の事業場の中より、同一事業場に5年以上勤務し、かつ安全に対し功績のあった方に贈られるものです。

小規模事業場の事業者と労働者の皆さんへ

### 地域の産業医による健康相談・保健指導は無料健康相談窓口をご利用下さい

労働者が心身ともに健康で働き続けられるように、長時間労働面接指導、メンタルヘルス対策や生活習慣病予防など、事業場が行う労働衛生管理の支援をするために、「県西地域産業保健センター」では、地域の産業医による面接指導や健康診断の事後措置などの無料健康相談・保健指導を行っています。

1. 無料健康相談窓口ご利用時間（ご利用希望の方は、事前にご連絡を下さい）  
13時から15時まで

2. 相談日（平成27年10月までの相談日は次のとおりです。）

7月6日（月） 7月21日（火） 8月7日（金） 8月21日（金） 9月2日（水） 10月7日（水）  
10月26日（月）

3. 相談窓口会場

〔おだわら総合医療福祉会館内 小田原市久野115-2 県西地域産業保健センター 4F事務所〕  
この他に事業者や労働者が利用し易いように、南足柄市、松田町、箱根町、開成町、山北町、中井町などの産業医のいる診療所でも適宜開設しています。

連絡先 0465-66-6040（月～金曜日の祭日を除く10時から16時までにご連絡ください）

厚生労働省委託事業【協力：小田原医師会・足柄上医師会】TEL 0465-66-6040

**県西地域産業保健センター** FAX 0465-66-6044

■小田原市久野115-2（おだわら総合医療福祉会館内）コーディネーター 剣持 收

## 支部会員事業場紹介

☆社名 富士フィルムフォトマニュファクチャリング株式会社

☆所在地 南足柄市中沼210（富士フィルム株式会社 神奈川工場足柄サイト内）

☆代表者名 代表取締役 久村 譲

☆創立 平成13年4月2日

☆従業員数 708名

☆事業内容 写真感光材料及び関連製品の製造販売、印刷材料の製造及び販売、医療機器及び体外診断薬の製造

☆社名 株式会社 利建

☆所在地 小田原市南鴨宮3-34-34

☆代表者名 代表取締役 小玉 利喜

☆創立 昭和54年7月11日

☆従業員数 12名

☆事業内容 旭化成ホームズ株  
旭化成ヘーベルハウス新築工事  
(旭化成リフォーム株)  
リフォーム工事、増改築、外壁塗装工事、一般リフォーム工事、外構工事



## [事務局だより]

### 事務局長 石塚 金蔵

平成 27 年度に入りまして早 3 ヶ月が経過しました。平成 26 年の死亡災害は対前年に比べ減少しましたが、休業 4 日以上の死傷災害は 6,639 件で製造業、建設業、陸上貨物運送事業、小売業及び社会福祉施設で 63% を占め、特に製造業、陸運貨物運送事業及び小売業では増加しています。神奈川労働局の平成 27 年度の重点施策でも、上記の災害が増加傾向及び多発の業種に対して重点的に取り組む対策が盛り込まれています。

小田原支部でも 9 月末までの行事として、会員及び一般の事業場において災害減少に貢献できる各種講習会（例：リスクアセスメント研修会、安全管理者選任時研修、安全衛生推進者養成講習会、交通 KYT 研修会他）を開催しています。是非ご参加して頂き皆様の事業場の災害発生防止にお役立て頂ければと思います。



[7 月～9 月行事案内]

- \* 普通救命講習 I
    - ・7 月 2 日(木) 青色会館
  - \* 事業場内メンタルヘルス推進担当者養成講座
    - ・7 月 8 日(水)、8 月 7 日(金) 青色会館
- 

## 散歩道

「チャレンジデー」をご存じでしょうか？毎年 5 月最後の水曜日に人口が同規模の自治体同士が 15 分以上運動した人の参加率を競うもので、敗者は勝者の市町村旗を庁舎のメインホールに掲揚するものです。私の会社のある山北町ですが、初参戦することになり対戦相手が岩手県の大槌町でした。

我社も健康増進の一環として参加することとなり、当日は昼休みの時間を利用して 20

- \* リスクアセスメント研修会(基礎コース)
    - ・7 月 15 日(水) 青色会館
  - \* 健康保持増進講習会
    - ・7 月 23 日(木) 青色会館
  - \* フォークリフト技能講習(A)
    - ・7 月 24 日(金) 学科 小田原市民会館
    - ・8 月 1 日(土) 実技 伊勢原教習所
  - \* 衛生管理者出張試験
    - ・7 月 26 日(日) 横浜国立大学常盤台キャンパス
  - \* 粉じん特別教育
    - ・7 月 28 日(火) 青色会館
  - \* 安全管理者選任時研修
    - ・8 月 19 日(水) 小田原市民会館
  - \* 安全衛生推進者養成講習会
    - ・8 月 26 日(水)～8 月 27 日(木) 小田原市民会館
  - \* 全国労働衛生週間小田原地区推進大会
    - ・9 月 3 日(木) 小田原市民会館
  - \* 交通 KYT 研修会
    - ・9 月 9 日(水) 青色会館
  - \* VDT 労働衛生教育
    - ・9 月 10 日(木) 青色会館
  - \* KYT リーダー研修会
    - ・9 月 16 日(水) 青色会館
  - \* 化学物質リスクアセスメント研修会
    - ・9 月 18 日(金) 青色会館
  - \* 届出手続き講習会
    - ・9 月 25 日(金) 青色会館
  - \* 安全衛生担当者の実務研修会
    - ・9 月 29 日(火) 青色会館
- 

分間ラジオ体操をし、従業員全員参加で体を動かしました。

結果は、大槌町が 53%、山北町が 47% で残念ながら敗れてしまいましたが、この「チャレンジデー」をきっかけに、今後も健康づくりと体力の増進に取り組んでいけたらと思います。

来年はリベンジしたいと思いますので、山北町にある会員事業所の皆様のご参加、ご協力をお願いします。

(広報部会 谷田部 浩史)